

# G7ハイブリッド証券ファンド 2014-02

単位型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)



募集期間限定

2014年

1月6日(月)～

1月31日(金)

●「G7ハイブリッド証券ファンド 2014-02」の基準価額は、同ファンドに組入れられている有価証券の値動き等の影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。したがって、元本が保証されているものではありません。●当資料はパインブリッジ・インベストメンツが作成した販売用資料です。●「G7ハイブリッド証券ファンド 2014-02」の取得のお申込みを取扱う場合には投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ、内容を十分にお読みください。最終的な投資判断は、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある証券(外国証券には為替のリスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境により変動します。したがって投資信託は預金と異なり、元本および利回りの保証はありません。また、過去の実績に関する数値は、将来の結果をお約束するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負います。証券会社以外で販売する投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

**お申込みにあたっては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

 **東海東京証券**

東海東京証券株式会社  
金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■設定・運用は

 **PINEBRIDGE**  
INVESTMENTS  
パインブリッジ・インベストメンツ

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第307号  
加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## ファンドの特徴

1

主として、G7諸国\*<sup>1</sup>のG-SIFIs\*<sup>2</sup>に指定されている金融機関が発行するユーロ建ておよび英国ポンド建てのハイブリッド証券(優先証券、劣後債)に投資を行います。原則として、投資するハイブリッド証券は投資適格格付け(BBB格相当以上)を有する銘柄とします。

\*1 G7諸国は、米国、日本、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、カナダを指します。

\*2 G-SIFIs(Global Systemically Important Financial Institutions)とは、金融安定理事会(FSB)によってグローバルの金融システム上重要であるとして選定された金融機関をいいます。

2

信託期間約4年の単位型投資信託です。原則として、投資するハイブリッド証券は、ファンドの償還日前にコール償還日(繰上償還可能日)\*<sup>3</sup>や定時償還日が設けられている銘柄に限定します。

◆当ファンドの償還日は2018年1月31日(水)です。

\*3 コール償還日(繰上償還可能日)とは、証券発行時に定めた条項に基づき、定時償還日前に繰上げて償還できる日のことを指します。

3

外貨建て資産については、為替変動リスクを回避するため、原則として為替のフルヘッジを行います。

◆当ファンドでは主に、ユーロ建ておよび英国ポンド建てのハイブリッド証券に限定して投資を行いますが、為替のフルヘッジを行い、為替変動リスクを低減します。

4

年4回(3、6、9、12月の各15日、休業日の場合は翌営業日)決算を行い、利息/配当等収益を中心に安定的な分配を行います。

※将来の分配金が保証されているものではなく、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。

※第1期の決算は2014年6月16日(月)となります。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## ファンドのリスク

当ファンドは、主としてハイブリッド証券など値動きのある有価証券（外貨建ての有価証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属しますので、お申込みにあたりましては、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、お申込みください。当ファンドが有する主なリスク要因として、以下の項目が挙げられます。

### 価格変動リスク

当ファンドの主要投資対象であるハイブリッド証券は、債券に近い性質を有しているため、一般にマクロ経済の動向による金利変動、信用スプレッドの拡大・縮小等により価格が変動します。また、経済・社会情勢、発行体の信用状況、経営・財務状況、企業業績ならびに市場の需給等の影響によっても変動します。組入銘柄の価格の下落は、当ファンドの基準価額の下落要因となります。

### 信用リスク

組入有価証券等の発行体および取引の相手先の倒産や経営・財務状況の悪化等の理由による価格の下落、利息・配当償還金の支払不能または債務不履行（デフォルト）等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。

### 流動性リスク

組入有価証券等を売買しようとする場合に、当該有価証券等の需給状況により、希望する時期および価格で売買できないリスクをいいます。この影響を受け、基準価額が下落する要因になることがあります。

### 為替変動リスク

外貨建て資産への投資には、為替変動リスクを伴います。当ファンドでは、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジ対象通貨と円との金利差相当分のヘッジコストがかかります。金利差の縮小はヘッジコストの減少要因に、拡大はヘッジコストの増加要因になります。

### 特定の業種への集中投資リスク

当ファンドは、主としてG7諸国のG-SIFIsに指定されている金融機関が発行するハイブリッド証券に集中的に投資するため、個別金融機関の企業業績・財務状況等や、金融機関を取巻く規制・情勢等の変化により大きな影響を受けます。したがって、幅広い業種に分散投資するファンドと比較して、基準価額の変動が大きくなる可能性があります。また、発行金融機関の経営不安、倒産、国有化等の場合には、当該証券の価格が大きく下落する可能性があり、当ファンドの基準価額が大きく下落することがあります。

### ハイブリッド証券固有の投資リスク

#### ●期限前償還リスク

ハイブリッド証券には繰上償還条項が設定されているものが多くあります。市場動向等により、繰上償還が実施されない場合、もしくは繰上償還されないと予想される場合には、当該証券の価格が大きく下落する可能性があります。また、金利低下局面で繰上償還された場合には、当該金利低下によるハイブリッド証券の価格上昇を享受できないことがあります。組入銘柄が期限前償還された場合、償還された元本を再投資することになりますが、市況動向により再投資した利回りが償還まで持ち続けられた場合の利回りより低くなる可能性があります。

#### ●弁済順位に関する留意点

一般的にハイブリッド証券は、弁済順位では株式に優位し債券に劣後します。発行体の破綻時における残余財産からの弁済が後順位となる可能性があります。

#### ●利息／配当の支払いに関する留意点

ハイブリッド証券には、利息／配当の支払繰延条項が付いているものがあります。発行体の業績の著しい悪化等により、利息／配当の支払いが繰延べられる可能性があります。

#### ●制度変更等に関する留意点

税制の変更等、ハイブリッド証券市場にとって不利益な制度変更等があった場合は、市場規模が著しく縮小し、基準価額が下落することがあります。また、今後、新しい形態のものが発行される可能性があり、ハイブリッド証券の特色の内容が変更となる場合があります。

#### ※収益分配金に関する留意点

収益分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。また、収益分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金の支払いは純資産総額の減少につながり、基準価額の下落要因となります。計算期間中の運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。

当ファンドのリスクは、上記に限定されるものではありません。

## ハイブリッド証券について

ハイブリッド証券は、債券と株式の中間的な性質を併せ持ち、金融機関が自己資本比率目標を満たすことを目的の1つとして発行している有価証券です。(銀行が発行している場合、バンク・キャピタル証券と呼ぶことがあります。)

当ファンドでは、主として優先証券や劣後債に投資を行います。

### ハイブリッド証券の主な仕組みと特徴の比較

#### [ハイブリッド証券の主なしくみ]



#### [ハイブリッド証券・社債・普通株式の比較]

	クーポン/配当	償還	主な価格変動要因
社債	予め決定	あるものが多い	金利変動 信用プレミアム変動
ハイブリッド証券 (優先証券、劣後債)	予め決定	あるものが多い	金利変動 信用プレミアム変動
株式	業績次第	なし	企業業績

高 小 低

法的弁済順位

↑ ↓

低 大

高 小 低

価格変動

↑ ↓

高 低

高 小 低

利回り

↑ ↓

高 低

**劣後債**

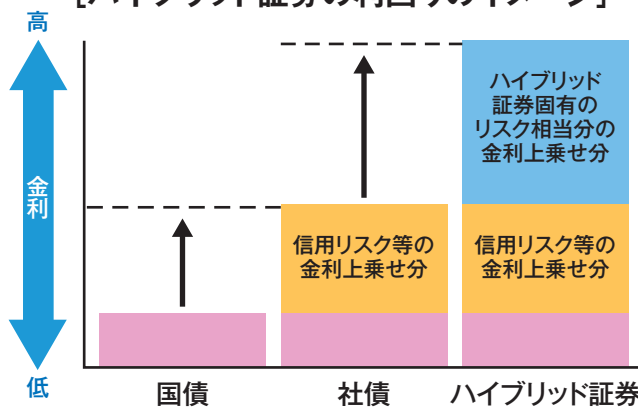
- 普通社債と比較し、法的弁済順位が劣る。
- 一般的に繰上償還条項が付与されており、利払繰延条項が付与されているものもある。
- 償還期限のある「期限付劣後債」、償還期限の定めがない「永久劣後債」がある。

**優先証券**

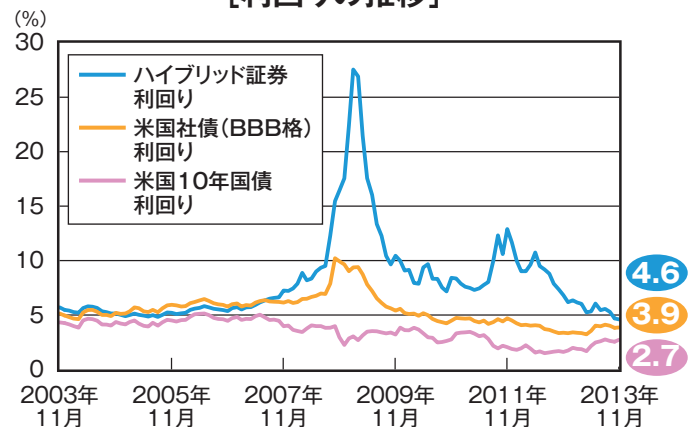
- 普通株式より法的弁済順位が優先され、劣後債より劣る。
- 一般的に繰上償還条項が付与されており、利払繰延条項が付与されているものもある。

### ハイブリッド証券の魅力的な利回り

#### [ハイブリッド証券の利回りのイメージ]



#### [利回りの推移]



出所：データストリーム、パークレイズ(すべて米国ドルベース、2003年11月から2013年11月)

※利回りの推移は、ハイブリッド証券(パークレイズ・グローバル優先証券(Tier1)指数)、米国10年国債(BofAメリルリンチ米国10年国債指数)、米国社債(BofAメリルリンチ米国社債(BBB格)指数)の最終利回りを基にバインブリッジ・インベストメンツが作成しています。

※上記は過去の市場の推移であり、将来の結果をお約束するものではありません。

※上記はハイブリッド証券の特性の一部を単純化して示したものであり、必ずしもすべてを示しているものではなく、またすべてのケースにあてはまるとは限りません。

# 組入れを行うハイブリッド証券について

主としてG7諸国のG-SIFIsに指定されている金融機関が発行した投資適格格付け(BBB格相当)以上のハイブリッド証券のうち、当ファンドの投資方針に見合う銘柄を選定します。

## 銘柄選定プロセス

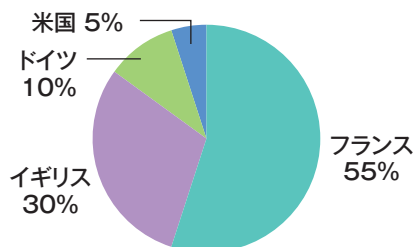


**G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions)** とは、G-20の金融監督当局等で構成される金融安定理事会 (FSB) によって、グローバルの金融システム上重要であると選定された金融機関であり、2013年11月に指定された世界を代表する29の金融機関をいいます。G-SIFIsに選定された金融機関は、追加的な資本の上乗せなど、より厳しい規制が課せられています。  
※G-SIFIsに指定された金融機関が経営破綻しないということではありません。

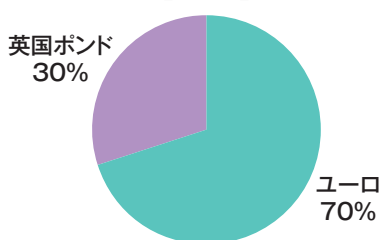
\* G-SIFIsに指定される金融機関は定期的に見直しされます。過去に指定されていた金融機関が発行した銘柄や、将来指定をはずされた金融機関が発行した銘柄にも投資を行うことがあります。  
※投資したハイブリッド証券がコール(繰上)償還や定時償還を迎えた場合、その償還金をファンドの信託期間内にコール(繰上)償還や定時償還を迎えるハイブリッド証券に再投資します。  
※信用リスク拡大時、流動性等によっては、投資したハイブリッド証券のコール(繰上)償還や定時償還を迎える前に時価で売却する場合があります。  
※投資したハイブリッド証券がコール(繰上)償還されなかった場合、ファンドの信託期間終了までに売却することになります。  
※資金動向、市場動向、残存信託期間などによっては、上記のような運用ができない場合があります。  
※上記銘柄選定プロセスは2013年11月29日時点のものであり、今後変更となる場合があります。

# 想定されるポートフォリオのイメージ

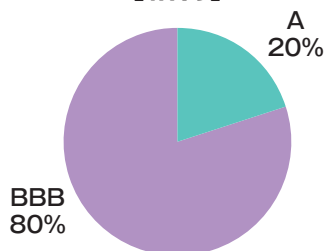
[発行国]



[通貨]

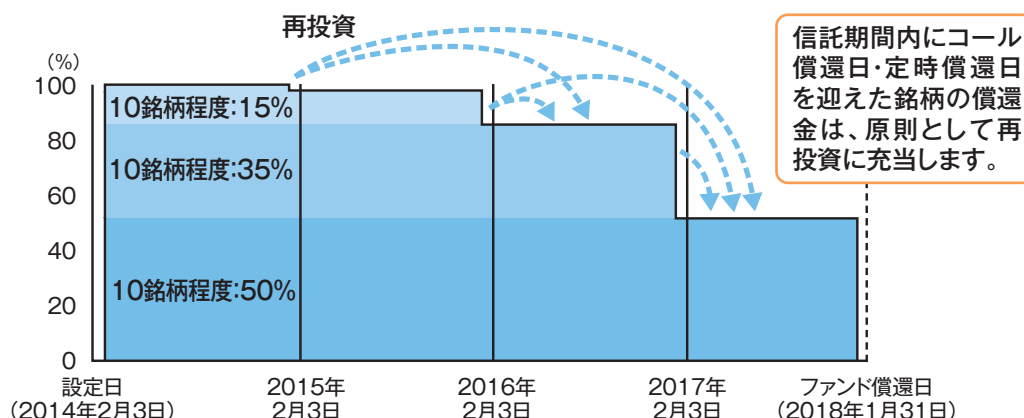


[格付]



平均格付け\*2：BBB-

[コール償還日・定時償還日分布のイメージ図]



想定ポートフォリオの利回り\*1：3.0~4.0%

出所：ブルームバーグ(2013年11月末時点)

※単位型投信の当ファンドは募集の段階では設定されていないため、上記の想定ポートフォリオは当ファンドに組入れられるポートフォリオのイメージをつかんでいただくことだけを目的として運用担当者の見解に基づき作成したものです。売買実行の可能性や売買手数料、税金等の諸経費、設定後の換金、コール償還や定時償還に伴うキャッシュ比率等は考慮していません。上記の想定資産配分(発行国、通貨、格付、コール償還日・定時償還日分布のイメージ図)は2013年11月末時点の運用担当者の見解に基づき作成したものであり、当ファンド設定後の実際のポートフォリオとは異なります。

\*1 想定ポートフォリオの利回りは、2013年10月末から11月末までの期間のハイブリッド証券のコール償還日・定時償還日までの利回りの平均と各銘柄のコール償還日・定時償還日後のキャッシュ運用等を加味して仮定した利回りを示しています。想定ポートフォリオの利回りは、運用管理費用(信託報酬)、手数料および税金等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。実際のポートフォリオ利回りは、投資対象であるハイブリッド証券のインカム水準によって変動します。

\*2 想定ポートフォリオの平均格付けは、基準日時点の証券にかかるS&P、ムーディーズ、フィッチの信用格付けの高い方によって加重平均したものであり、当ファンドにかかる信用格付けではありません。

## 組入銘柄候補

### BNPパリバ

**【概要】**

フランスのパリに本社を置く銀行大手。欧州、米国、アジア、新興国市場などで、預金業務、法人・個人向け、プライベート・バンキングなどの多様な金融サービス事業を展開。資産管理や投資顧問サービスなども提供。

銘柄名	BNP PARIBAS
通貨	英国ポンド
発行日	2007年10月23日
初回コール償還日	2017年10月23日
償還日	無期限
コール条項	初回コール償還日以降、3ヵ月毎に可能
クーポン	7.436% (2017年10月23日以降、3ヵ月GBPLIBOR+1.85%)

出所：ブルームバーグ(2013年11月末時点)

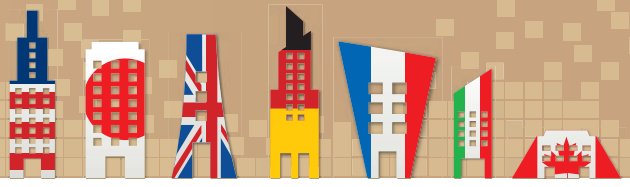
※上記は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。また上記のハイブリッド証券に必ずしも投資を行うとは限りません。当資料により個別証券の投資の勧誘・推奨を行うものではありません。

### ロイヤルバンク・オブ・スコットランド

**【概要】**

英国のエディンバラに本社を置き、英国、欧州、中東、南北アメリカ、アジアなどで業務を展開する国際的なバンキング及び金融サービス会社。日本では、1971年の進出以来、機関投資家や法人顧客に金融サービスを提供。

銘柄名	ROYAL BK OF SCOTLAND PLC
通貨	ユーロ
発行日	2004年9月22日
初回コール償還日	2016年9月22日
償還日	2021年9月22日
コール条項	初回コール償還日以降、3ヵ月毎に可能
クーポン	4.625% (2016年9月22日以降、3ヵ月EURLIBOR+1.30%)

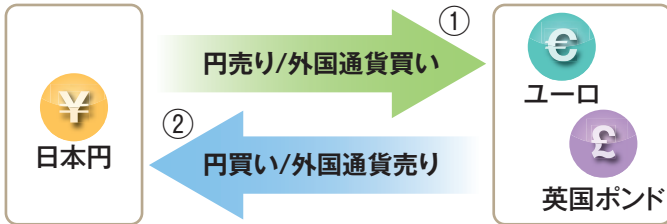


# 為替ヘッジについて

当ファンドでは、G7諸国のG-SIFIsに指定された金融機関が発行したハイブリッド証券のうち、ユーロ建て、英国ポンド建てに限定して投資を行います。

為替ヘッジコストは歴史的に低水準で推移しているものの、今後の各国、各地域の景気動向により政策金利が見直された場合、ヘッジコストも変化することが想定されます。

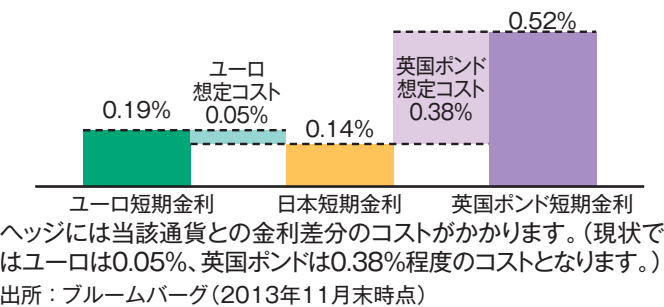
【為替ヘッジの概念図】



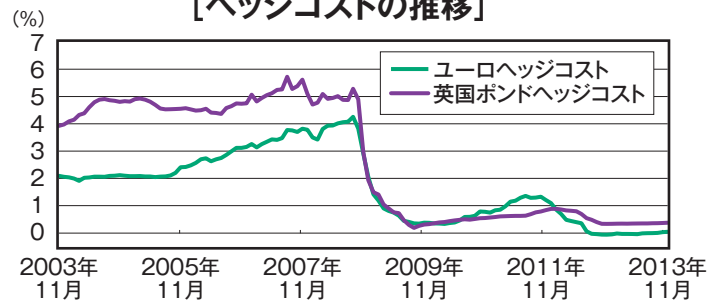
- ①ユーロ、英国ポンド建てのハイブリッド証券に投資を行うため、ファンドの円資産をユーロ、英国ポンドに転換します。
- ②ユーロ、英国ポンドに転換する際に、将来円に戻す為替予約を同時に行います。

※上記は為替ヘッジの方法の一部を単純化して示したものであり、必ずしもすべてを示しているものではなく、またすべてのケースにあてはまるものではありません。

【想定ヘッジコスト】

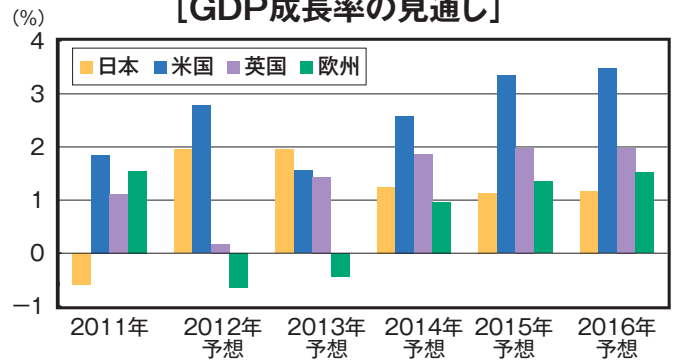


【ヘッジコストの推移】



出所：ブルームバーグ(2003年11月から2013年11月)  
日英欧の短期金利(3ヵ月LIBOR)を基にパインブリッジ・インベストメンツが作成しています。

【GDP成長率の見通し】



## PineBridge Investmentsのハイブリッド証券運用について

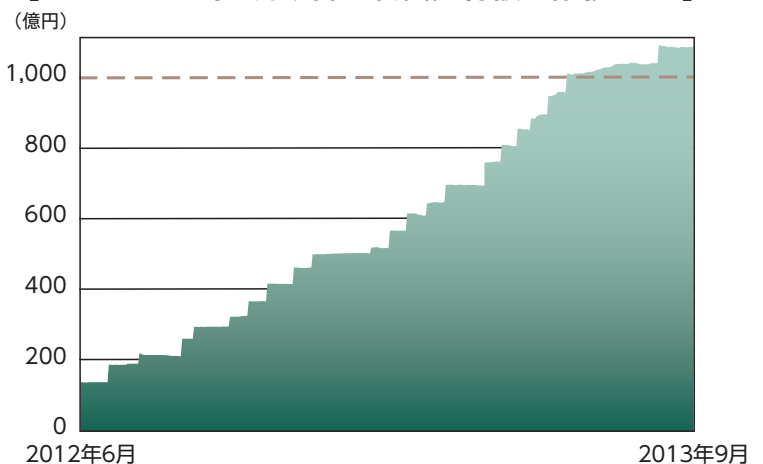
PineBridge Investmentsは2002年より優先証券ファンドの運用を行っています。また、日本の金融機関が発行したバンク・キャピタル証券に投資を行う公募投資信託の最大の運用会社\*です。

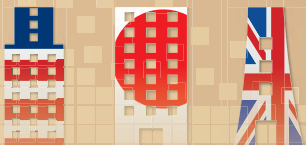
\*パインブリッジ・インベストメンツ調べ

### 【PineBridge Investmentsのハイブリッド証券運用の歴史】

- 2002年12月 パインブリッジ米国優先証券ファンド(愛称:ラストリゾート)を設定。地銀初の優先証券ファンドの販売会社が誕生
- 2004年2月 米国優先証券ファンドシリーズの運用資産が1,000億円突破。2005年9月には1,900億円突破
- 2009年7月 日本初のジャパン・バンク・キャピタル証券ファンドを設定
- 2013年6月
  - ・ジャパン・バンク・キャピタル証券ファンドシリーズの運用資産が1,000億円突破
  - ・オーストラリア・バンク・キャピタル証券ファンドシリーズの設定

### 【ジャパン・バンク・キャピタル証券ファンドシリーズ 2012年6月以降の純資産総額の推移】





# G7ハイブリッド証券ファンド

## 2014-02



### お申込みメモ

信託設定日	2014年2月3日(月)
信託期間	2018年1月31日(水)までの約4年
購入の申込期間	2014年1月6日(月)から2014年1月31日(金)
購入価額	1口当たり1円
購入単位	1万口以上1万口単位/1万円以上1円単位(元本1口=1円)
クローズド期間	なし
申込受付中止日	ニューヨーク証券取引所の休業日と同じ日付の場合
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
換金代金のお支払い	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
決算日	年4回(3,6,9,12月の各15日、休業日の場合は翌営業日) ※初回の決算日は2014年6月16日(月)とします。
収益分配	毎決算時に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 収益分配金は、原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いします。

※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

### お客様には以下の費用をご負担いただきます。

#### 購入時に直接ご負担いただく費用

- 購入時手数料：購入金額に応じて以下の率を乗じて得た額とします。

5000万円未満	2.100%(税抜2.00%)
5000万円以上1億円未満	1.575%(税抜1.50%)
1億円以上3億円未満	1.050%(税抜1.00%)
3億円以上5億円未満	0.525%(税抜0.50%)
5億円以上	なし

#### 換金時にご負担いただく費用

- 換金時手数料：かかりません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%を乗じて得た額とします。

#### 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 運用管理費用(信託報酬)：信託財産の純資産総額に年1.3965%(税抜1.33%)\*を乗じて得た額とします。  
\*消費税率が8%となった場合は、年1.4364%(税抜1.33%)となります。
- 監査報酬：上記運用管理費用の中に含まれています。
- その他費用：有価証券売買時の売買委託手数料、資産を海外で保管する場合の保管費用等(その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

※信託財産留保額は償還時にはかかりません。  
※費用等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。  
※詳しくは、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

### 投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、東海東京証券株式会社の本・支店等にご用意しています。
- 投資信託は元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

### 委託会社、その他関係法人

委託会社：パインブリッジ・インベストメンツ株式会社

当ファンドの委託会社として、受益権の募集、受益権の発行、信託財産の運用指図、投資信託説明書(交付目論見書)・運用報告書の作成等を行います。

受託会社：株式会社りそな銀行

当ファンドの受託会社として、信託財産の保管・管理・計算等を行います。

投資顧問会社：パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー

販売会社：東海東京証券株式会社 他

当ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)・運用報告書の交付、一部解約の実行請求の受付ならびに収益分配金・償還金および一部解約金の支払いの取扱い等を行います。